

現代の国際関係とその政治的背景A(1073)

科目名	現代の国際関係とその政治的背景A(1073)
担当者名	小林誉明こばやしたかあき
開講期	前期
単位数	2単位
曜日時限	金曜 5時限
教室	B202
授業テーマ	21世紀の世界を生きていくための基本的な教養として、現代国際社会が直面する諸課題を自らの頭で分析し解決策を提案するのに必要な思考力を養うことを目的とする。前期は特に、紛争や暴力、差別といった形で現れる人道上の危機、広義の安全保障の問題を扱う。
授業計画	世界各国が経験してきた、また現に直面している紛争の現状を把握した上で、そのような結果を招いた原因構造を紐解くとともに、人々が「恐怖からの自由」を得るための道筋を探る。授業は、一つのテーマにつき、二週にかけて取り組むこととする。最初の週に、ケース・メソッドやゲーム、ロール・プレー、映像資料等を用いて現状把握を行った上で、次の週に、その題材を用いたディスカッションやグループワークを行い、原因分析や対応策を考える。

授業計画

回数	授業タイトル	学習のポイント	参考頁(テキスト)
1回	イントロダクションアフガニスタンをどう捉えるか		
2回	ケース:南アフリカ共和国のアパルトヘイトについて知る		
3回	討論:人種差別はなぜ起こるのか。いかに解決するか。		
4回	ケース:ルワンダの悲劇		
5回	討論:民族虐殺はなぜ起こるのか。いかに解決するか。		
6回	ケース:ウガンダの少年兵		
7回	討論:内戦はなぜ起こるのか。いかに解決するか。		
8回	ケース:イラク戦争の真実		
9回	討論:戦争はなぜ起こるのか。いかに解決するか。		
10回	ケース:同時多発テロの衝撃		
11回	討論:テロはなぜ起こるのか。防ぐことはできないのか。		
12回	ケース:パレスティナ難民は		
13回	討論:難民はなぜ流出するのか。いかに解決するか。		
14回	ゲスト講師による講演		

履修条件・成績評価の基準等	授業への貢献、ミニクイズ提出、グループ発表等により総合的に評価する。(期末試験は実施しない)
教科書	『貧困問題とは何であるかー開発学への新しい道』(3,200円+税)
参考文献	『国際協力 新版ーその新しい潮流』他、トピックにあわせて適宜指示する。
その他	

現代の国際関係とその政治的背景B(1074)

科目名	現代の国際関係とその政治的背景B(1074)
担当者名	小林誉明こばやしたかあき
開講期	後期
単位数	2単位
曜日時限	金曜 5時限
教室	B202
授業テーマ	21世紀の世界を生きていくための基本的な教養として、現代国際社会が直面する諸課題を自らの頭で分析し解決策を提案するのに必要な思考力を養うことを目的とする。前期は特に、飢餓や貧困、不平等といった形で現れる経済的な問題を中心に取り扱う。
授業計画	世界各国が経験してきた、また現に直面している貧困や不平等の現状を把握した上で、そのような結果を招いた原因構造を紐解くとともに、人々が「欠乏からの自由」を得るための道筋を探る。授業は、一つのテーマにつき、二週にかけて取り組むこととする。最初の週に、ケース・メソッドやゲーム、ロール・プレー、映像資料等を用いて現状把握を行った上で、次の週に、その題材を用いたディスカッションやグループワークを行い、原因分析や対応策を考える

授業計画

回数	授業タイトル	学習のポイント	参考頁(テキスト)
1回	イントロダクション		
2回	ケース:干ばつに見舞われた農村		
3回	討論:資源が不足するのはなぜか、いかに解決できるか。		
4回	ケース:フィリピンのスモークマウンテンの子供達		
5回	討論:貧困はなぜ起こるのか、いかに解決できるか。		
6回	ケース:アフガニスタン復興支援		
7回	討論:援助で問題は解決するか。		
8回	ケース:ガーナの農民の困窮		
9回	討論:貿易は万能のツールか。		
10回	ケース:ブラッド・ダイヤモンド		
11回	討論:投資で問題は解決するか。		
12回	ケース:中国とインドの発展		
13回	討論:所得向上はやはり不可欠か		
14回	総括		

履修条件・成績評価の基準等	授業への貢献、ミニクイズ提出、グループ発表等により総合的に評価する。(期末試験は実施しない)
教科書	『開発援助がつくる社会生活』(大学教育出版、2010年)
参考文献	『国際協力 新版ーその新しい潮流』他、トピックスにあわせて適宜指示する。
その他	